

2022年2月19日裁判司法研究会議事録

1. 概要

【日時】2022年2月19日午後2時から午後5時30分ごろまで

【会場】Zoomによる遠隔研究会および会議

【出席者】

玉江、小林、南京家、林、巫（5名）

2. K氏からの送付資料の検討

裁判正常化道志会のホームページを見て、裁判で問題を抱えているKさんが連絡してきた。Kさんは、不公平な訴訟指揮を行った裁判官に対し、国賠訴訟と刑事告訴を行った。裁判と告訴に関する資料を送ってもらったので、巫がファイルに落とし、代表的な資料を共有化して、研究会で検討することにした。

Kさんの考え方は当会の考え方と近いものであり、ぜひ、研究会に参加して意見を交換したい。できれば入会してもらいたい。いずれかの時点で意見交換することにして、資料を読んだ感想と、質問点を会でまとめた資料を作成して、Kさんに送ることにした。

3. 山村さんの自動車の件

(玉江) 山村さんは、横浜地裁から自動車を引き上げたと聞いた。

4. 玉江さんの事件の検討

(巫) 玉江さんの事件の銀行記録を小林さんが調べたところ、銀行から貸付金が資金としては振り込まれているということですが、そうすると銀行の問題ではないのではないですか。

【有限会社トライアングルの問題】

(林) 玉江さんはお人好しでいろいろな人にだまされているので、単純化すべきではない。有限会社トライアングルの件が重要だと思うので、説明したい。この会社の登記は私が玉江さんを援助して取り寄せることができたが、役員が玉江さんのほかに、藤本隆輝、谷口弘子の三人になっていて、トライアングルという社名は三角形という意味だから、その三人の会社という意味だと思う。玉江さんは彼らに会社を作るよう勧められ、了承したがそのときには、玉江さんと玉江さんのお兄さんが役員になるように考えていた。玉江さんの意向を無視して役員が選任されただけでなく、事務所は藤本の事務所に置か

れていた。つまり、玉江さんの名前を勝手に使用して、玉江さんの事業収入をこの事務所の経費や役員の報酬として、食いつぶしていたはずである。

(巫) それは、林さんの推測ですか。

(林) 合理的な確証性の高い推論だ。

(巫) トライアングルの経営状態を調べなければ断定できない。

(小林) 藤本さんと谷口さんは玉江さんが信金から借入れをするときに、連帯保証人になっているのだから、大きく関与している。しかし、裁判では二人の名前は全く出てこない。不自然だ。林さんの説は説得力がある。

【不動産取得資金の持ち逃げ問題】

(林) この藤本という人間は、最初から玉江さんの財産を奪おうと狙っていたと思える。彼は、日大法学部の卒業生で、仲間が玉江さんをグルでだました可能性もある。彼は、「玉江さんに、いい物件を買えるよう世話をしたいが、いい物件はすぐに売れてしまうので、早く手を打たなければチャンスを逃す。そこで、そのための資金を、私に預けてほしい」と玉江さんをだまして、玉江さんから1570万円もの金銭を預かったまま、逃げてしまった。玉江さんはこんなことでお金を渡すほど、世間知らずだ。さらに、玉江さんが藤本を見つけて、その点を問い詰めると、借用証書を書き、公正証書を作ると公証人役場に行って玉江さんを安心させた。本来、この金銭は玉江さんが藤本に貸したのではないのに、金銭貸借契約にさせられ、玉江さんはそれで安心したということだ。藤本はとんでもない人間だ。

(玉江) 藤本は死んでしまった。

【玉江さんと林さんの解釈の相違点】

林さんは、不動産業の藤本が玉江さんに接近して以降、玉江さんの財産がだまし取られることになったと考えているが、玉江さんは昭和58年に初めて信金で口座を作った時から、一貫して信金に財産を奪われていると考えている。

【小野寺さんの件】

(林) 江東区の辰巳で写真屋を営んでいる小野寺さんという人が、玉江さんの事件のホームページを作成したが、玉江さんの意向を無視したものだった。

【玉江さんの気持ちについて】

(玉江) 私は、いろいろな人にだまされて、財産も人生も失ったのだが、このまま終わってしまうのは耐えられない。事件を起こしてでも、事実を世間に

明らかにしたい。

5. 次回の予定

2022年3月5日(土) 14時から17時くらいまで、Zoom会議。Zoomホストは小林さんの予定。

2022年2月21日

巫召鴻